

ゼロ・ウェイスト zero waste あかし

【発行・お問合せ先】
明石市環境室 資源循環課
TEL:078-918-5794
FAX:078-918-5793
E-mail:sigen-j@city.akashi.lg.jp

Vol.1

2023年10月発行

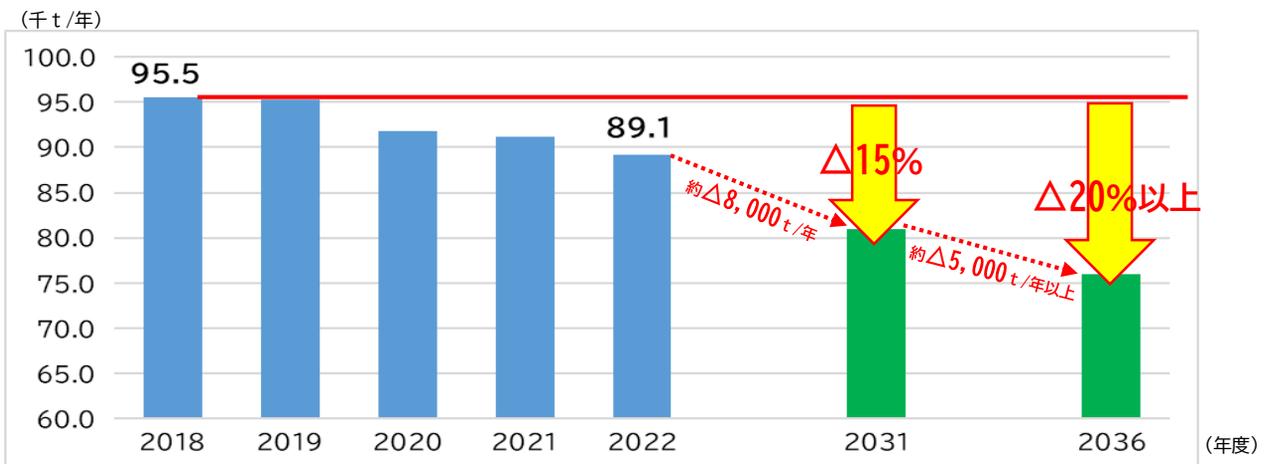
明石市のごみの現状や、リサイクルについて分かりやすく、市民のみなさまに情報発信するため、「ゼロ・ウェイスト※ あかし」を創刊しました。
創刊号では、明石市のごみの現状などについて、ご紹介しますので、ぜひご覧ください。

※ゼロ・ウェイストについては、最後に説明します。

Q 明石市のごみの量って年間でどれくらいあるの？



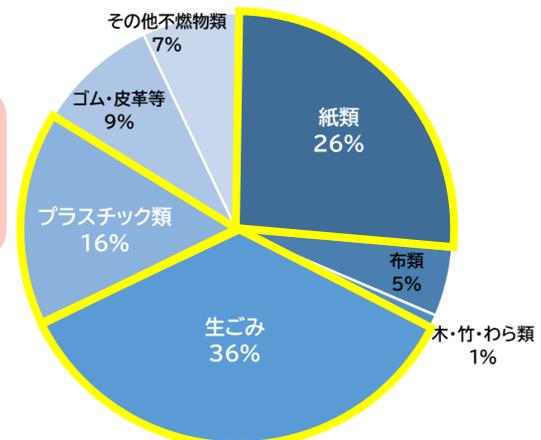
A 明石市のごみの処理量は、2022年度で約 **89,100 t/年**です。
コロナ禍により、市のごみ処理量は減少傾向ではありますが、明石市では、2018年度を基準年度として2031年度に△15%、2036年度に△20%以上のごみを減量することを目標としており、さらなる減量が必要です。



Q ごみの種類は何が多いの？



A 明石市の2021年度の家系燃やせるごみの分析をしてみると、「生ごみ」「紙類」「プラスチック類」の順に多くなっています。



生ごみを減らすには、
食材の**使いきり**、**食べきり**、
捨てる前の**水きり**が大事だね。



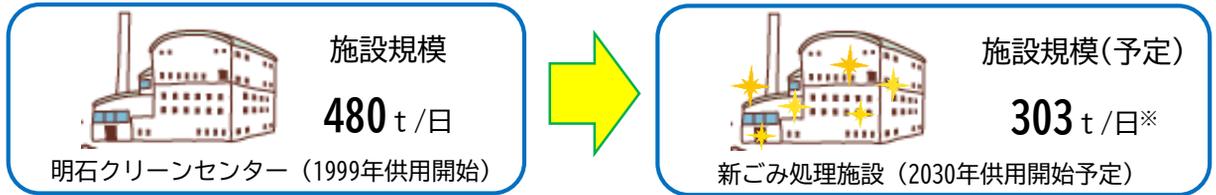
なぜ、ごみ減量しないといけないの？



今の明石クリーンセンターは、供用開始から25年目となり、老朽化が進んでるため、新しいごみ処理施設の整備を2030年度の供用開始に向けて進めています。

新しいごみ処理施設は、整備費の削減のため、施設規模が出来るだけコンパクトになるよう計画しているため、ごみを減量する必要があります。

また、明石市内最後の最終処分場である、第3次最終処分場の延命化を図る必要があります。



※明石市新ごみ処理施設整備基本計画より抜粋。
今後、施設規模については、変更の可能性があります。



どうすれば、ごみを減らせるの？



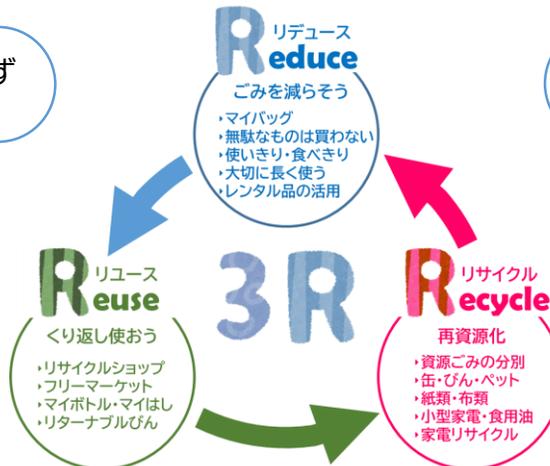
ごみを減らすためのキーワードが「3R」です。

「3R」とは、まず、資源の消費(ごみ)を減らす「リデュース(Reduce)」から始めて、次に、使えるものは繰り返し使う「リユース(Reuse)」、そして使えなくなったら再資源化「リサイクル(Recycle)」をする。これら3つのRの総称です。

多くの市民のみなさまが「3R」に積極的に取り組めば、ごみを大きく減らす効果が期待できます。

普段から、無駄なものを買わず長く使うことが大事だね。

ごみを捨てるときは、キッチンと分別しよう！



最後に・・・ みなさんは、**ゼロ・ウェイスト**という言葉をご存じですか。

ゼロ・ウェイストとは、「ウェイスト」(ごみ)を、「ゼロ」にするという意味です。循環型社会を形成するため、出てきたごみをどう処理するかではなく、そもそもごみを生み出さないようにしようという考え方です。

オーストラリアの首都・キャンベラが、1996年に世界で初となる「ゼロ・ウェイスト宣言」を発出し、その後、カナダのトロントやアメリカのサンフランシスコなど世界中に広がり、国内では、徳島県の上勝町が初めてゼロ・ウェイスト宣言をし、現在では5市町があります。

明石市においても、市民、事業者と協働して3Rを推進し、「ゼロ・ウェイスト」を目指すため、本紙のタイトルを「ゼロ・ウェイスト あかし」にしました。これから、ごみに関する情報を、いろいろ発信していきますので、みなさんもごみの課題について、本紙を通して一緒に考えていただけたら幸いです。

環境フェア

日時：10月28日(土) 11:00~15:30
場所：あかし市民広場(パピオスあかし2階)

みんな、来てね！

